

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	令和2年度第6回音更町総合計画審議会
開催日時	令和2年12月4日（金） 午後6時30分から午後7時30分
開催場所	音更町役場 3階特別会議室
委員出席者	阿部委員、大庭委員、岡田委員、岡庭委員、小川委員、梶谷委員、古川委員、白木委員、土田委員、西川委員、野久委員、畠委員、林委員、藤川委員【計14名】
町側出席者	鈴木総務部長、荒井町民生活部長、重松保健福祉部長、傳法経済部長、下口谷建設水道部長、岸本会計管理者、草浦議会事務局長、八鍬教育部長、重堂企画課長、深谷財政課長、佐藤総務課長、松井町民課長、高橋福祉課長、早苗農政課長、山本商工観光課長、井原都市計画課長、藤原学校教育課長、高山音更消防署長【計18名】 ≪事務局≫渡辺企画財政部長、新名企画課参事（総合計画策定）、大井企画調整係長、田中同主任、松本同主事、津久井まちづくり政策推進員【計6名】
議題・諮問内容	1 会長あいさつ 2 議案 （1）本計画が目指すまちの将来像について （2）第6期音更町総合計画の素案について 3 その他
会議資料	「第6期音更町総合計画素案」
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■ 第6期音更町総合計画の素案について</p> <p>委員：【第3章 2 義務教育】コンピュータなどのICTを活用した学習活動の充実について、児童生徒にタブレット端末を配布しているとのことだが、通信容量などの通信環境整備状況は。</p> <p>事務局：1月末までに全小中学校の児童生徒及び教職員にタブレットを配布する予定である。また、授業中に児童生徒が一斉にタブレットを利用できるよう通信容量を増強する工事を1月末までに全校で完了させる予定である。 家庭における通信環境については、既に通信環境が整備されている家庭とされていない家庭がある。通信環境がない家庭には、町からポケットWiFiを購入して貸与する予定であるが、それに伴う通信料は、使用者に負担していただくことを想定している。また、生活保護や就学援助を受けている家庭については、町で通信費用を負担する方向で考えている。</p> <p>事務局：市街地全域で光回線を整備済みだが、現在、農村地域においても全域に光回線を整備する事業を進めている。農村地域では、既に光回線が整備されている学校もあるが、整備されていない学校もあるため、今後、農村地域全体に光回線が整備されることで、学校や家庭での通信環境が確保されていくと考えている。</p> <p>委員：【第5章 3 広報、広聴、情報公開】外国人向けの英語版町勢要覧の作成とあるが、音更町に在住している外国人の人数は。 また、町勢要覧以外に外国語で作成を検討している媒体はあるか。</p> <p>事務局：町内における外国人の人数は、9月末現在で143人。 町勢要覧以外では、十勝川温泉地域の案内標識の外国語表記や、現在、町のホームページのリニューアルにおいて、外国語対応を可能としたホームページの作成を進めている。また、観光協会のホームページは、既に外国語対応済である。</p>

委員	【第3章 6 社会教育】ふるさと教育とあるが、どのような教育か。
事務局	小学生の社会科の副読本で音更町を紹介し、学習できるようにしている。
委員	現在行っているふるさと教育を今後も継続するのか、またはもっと積極的にふるさとに関する教育を行う予定はあるか。
事務局	音更を離れても音更を忘れず、また、音更に戻ってきていただきたいという思いを込めて、子どもたちに音更を忘れないような教育をしていきたい。 また、本町の自校給食など、他にはない特徴を活かしたふるさと教育を続けていきたい。
委員	インターネットにアクセスできない高齢者が家庭等において、情報収集や社会とのつながりを持てるような仕組みを構築できないか。
事務局	携帯電話を持っていない高齢者など、希望者に対して今年度から防災無線戸別受信機の配布を行っている。 また、高齢者に対する振り込み詐偽が問題になっているため、対処方法や知識をつけるための環境づくりを調査・研究していく。 防災については、地域に自主防災組織がある。通信環境を活用しながら、地域と一体となった取組を進めていく。